学校法人 兵庫医科大学

広報

兵庫医科大学　兵庫医療大学

平成２３年
年頭の言葉・年頭メッセージ

最近の主な出来事、トピックス

平成２３年度兵庫医科大学・兵庫医療大学　入学試験速報

兵庫医科大学・兵庫医療大学　大学祭開催

職場リポート

海外便り／多彩人

vol.209
2011年新年号

大学探訪

Elements of Hyogo University of Health Sciences in 2009

（兵庫医療大学 セントラルオフィス前）

表紙を飾るのは、縦１．２ｍ、横１．８ｍからなるモザイクアート「Elements of Hyogo University of Health Sciences in ２００９」。兵庫医療大学写真サークル「Photo Bug」が中心となって、キャンパス内の学生や教職員を撮影した顔写真約５，０００枚（１枚は大体２㎝×２㎝）で、シンボルタワーに続く校舎が造られました。この春、兵庫医療大学は完成年度を迎えます。４年間共に学んだ「Elements」の一部、看護学部とリハビリテーション学部の第１期生が、いよいよ学び舎を旅立ちます。

兵庫医療大学は、学生ならびに教職員ひとりひとり（element）から成り立っています。そのことを写真で表現しようと思い、一目で兵庫医療大学とわかる写真を撮影し、現時点（２００９年）における学生と教職員の顔を使ってモザイクアートに仕上げました。この大学はまだまだ未完成です。このモザイクアート全てのelementを我々の顔で埋め尽くすことが出来るように、新しい大学を築いていきたいと思っています。

制作：兵庫医療大学写真サークル「Photo Bug」　&　You

目次

01　大学探訪（表紙について）／目次
02　平成２３年　年頭の言葉
03　平成２３年　年頭メッセージ
06　最近の主な出来事
■　兵庫医科大学
08　第３９回兵庫医科大学大学祭「醫聖祭」を開催
09　クロアチア共和国リエカ大学医学部　交換留学を実施
10　平成２３年度兵庫医科大学医学部入学試験・大学院入学試験　速報
11　平成２２年度篤志解剖体慰霊祭／治験セミナーを開催／
小児患者対象イベント～入院中の子どもたちがマジックを楽しみました～
■　兵庫医療大学
12　第３回兵庫医療大学大学祭「海梟祭」を開催
13　平成２３年度兵庫医療大学入学試験　速報
14　平成２２年度科学研究費補助金（追加採択分）等の交付決定／
職業体験イベント「医療のお仕事体験してみませんか？」を開催／薬学部４年生の篠原さんがポスター賞を受賞
■　学校法人兵庫医科大学
15　学校法人兵庫医科大学基金　状況報告／規程等の制定・改正・廃止／懲戒処分について

職場リポート
16　兵庫医科大学病院　病院事務部　医事課
17　兵庫医科大学病院　看護部　１号館７階東病棟

18　海外便り　～海外で活躍する研究者からのメッセージ～
石　亦宏さん（第３回）
University of California San Diego, School of Medicine Assistant Professor of Medicine
多彩人
由良　仁さん
兵庫医科大学病院　病院事務部　次長

平成２３年　年頭の言葉

開学４０周年を一年後に控え総合医科大学としてのアイデンティティーを更に高めていきたい

理事長｜新家　荘平

皆さん、明けましておめでとうございます。平成２３年の年頭に当たり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年、本学は近年特に厳しさを増す医学教育と医療をめぐる環境の中にありながら、平成１２年に立ち上げた中期事業計画の目標に向かって数々の新しい課題に挑戦し、目に見えて明らかな成果を挙げて参りました。

先ず、西宮キャンパスについて。教育面ではその実体を如実に反映する医師国家試験において本学卒業生は一昨年来２年連続で全国トップクラスの成績を維持しました。研究面においても本学の文部科学省科学研究費獲得実績は公私立医学部の中でも依然として高位を占め、研究活動の充実を如実に示しています。診療面でも、医師や看護師の人材不足と言う厳しい状態の中にありながら、病院収支は上向きに転じ、法人全体の黒字化に大きく寄与いたしました。今年３月までの平成２２年度決算見込みも予想を上回る見込みです。その管理面においても病院機能評価（Ver ６）を受審し、高い評価を得ることができました。又、臨床研修医・研修病院間のマッチングについても、本院では一昨年に続いてフルマッチの結果となりましたが、これは本院での臨床研修が一定の評価を受けていることを示しているものと考えられます。

次に、篠山キャンパスについて。昨年６月、計画通りに新病院を完成させ、「ささやま医療センター」として名実ともに地域医療を担う中核病院として、また、それを担う若い医療人のための卒前・卒後教育の場として再出発させることが出来ました。センター内に新しく設置された地域総合医療学講座は時代に即した医学教育と医療を提供していくことになるでしょう。

他方、神戸キャンパスの兵庫医療大学も順調な年次を重ね、この３月完成年度を終える４年制の看護学部とリハビリテーション学部から初の卒業生が巣立ちますが、その多くは本学の西宮・篠山両キャンパスの臨床現場における新戦力として、チーム医療の一端を担っていくことになるでしょう。６年制の薬学部についてはその完成年度まで更に２年を待たねばなりませんが、その間、本院との緊密な連携を活かした病院・薬局実習は臨床に強い新しいタイプの薬剤師の育成に資することになるでしょう。

更に、西宮キャンパスにおいては今年３月、１０号館東隣りに１１号館と呼んでいる「兵庫医科大学病院急性医療総合センター」の建設工事が始まります。これはその規模からいって１年後に迎える開学４０周年の大きな記念事業となりますが、これを契機として西宮キャンパス再開発整備の幕が開かれることになります。

今後の本学の長期的展望の中で軸となる西宮キャンパスグランドデザインの策定はまだ始まったばかりですが、今後この事業計画は本学の最大の課題となってくるでしょう。言うまでもなく、今回のセンター建設を含めた新しい事業展開のためには多額の財源が必要であり、財政面で充分な余裕をもたない本学にとって、長期間にわたって厳しい状況が続くことになるのでしょうが、これまでの幾多の過酷な試練を乗り切ってきた知恵と経験を活かしつつ、様々な方策を講じてこの艱難を克服していきたいと考えています。

そのための具体的な方策としては、先ず、１法人２大学３キャンパスで共有する学校法人兵庫医科大学としての中長期事業計画と財政基盤との整合性を尊重しつつ、積極的な経営資源の獲得、徹底した経費節減や合理的な資源の配分のためのロードマップを策定してその実践を図るとともに、各キャンパスが徹底した自己点検と評価のもとにそれぞれの役割と責任を明確にしてその本分を果たしていかねばなりませんが、これこそが名実ともに存在感に溢れた総合医科大学としての理想像に向かう最も早い近道だと考えます。

どうかこの兎年の新しい年に、皆様がそれぞれの職域で、自信と責任を持って本学発展に寄与してくださることを心からお願いして、年頭の所感を締めくくりたいと思います。

西宮キャンパスグランドデザインの策定を目指して

副理事長 | 波田　壽一

皆様明けましておめでとうございます。平成２３年が皆様にとって幸多い良い年になることを祈念致しております。

私は昨年３月末で任期満了に伴い学長を退任し、４月から副理事長として引き続き兵庫医科大学に勤務させていただいております。副理事長としての仕事内容を簡単にご紹介させていただき、今後のご協力をお願いして、年頭のメッセージに代えさせて頂きたいと思います。

現在、本学理事は業務分担制になっており、私の担当は理事長補佐、情報、危機管理、施設整備計画です。昨年は情報に関しては、学校法人情報センター規程を改正し、新たにセンター内に４部門（教育・研究・メディア部門、基幹整備部門、事務情報化部門、医療情報部門）を設け、各部門に法人、両大学、病院、ささやま医療センターの担当を置きました。情報センター長を決定し、情報センターの体制を整え、同時に情報センター運営協議会規程を見直しました。また、情報システムに係わる導入手順を決定し、今後のシステム導入は全てこの手順に則って行うことになります。

危機管理に関しては、これまで本学校法人には基本となる危機管理規程がなく、危機管理委員会もありませんでしたので、現在危機管理規程と危機管理委員会規程、危機管理基本マニュアルを策定中です。今年３月までには整備出来ると考えております。その後、未整備の部署については、基本マニュアルに沿って危機管理事象に対応するマニュアルを作成していただきたいと考えております。

次に、施設整備計画として現在１０号館の東側に急性医療総合センターを建設することが決定し、今年３月までには工事が着工されます。本学も開学して３９年目となり、既存の建造物が老朽化してきておりますので、１０号館を除いて順次建て変えていく必要があります。現在、西宮キャンパスをこれからどの様に整備していくかを検討するための「西宮キャンパスグランドデザイン策定小委員会」が経営企画室に設置され、私が委員長を務めさせていただき、既に２回会合を持ち検討を開始しております。いずれ教職員、学生、同窓会の皆様方からも御意見を伺って、計画の中で活かしたいと考えておりますので、その節はご協力の程宜しくお願い致します。今年６月頃までには委員会としての最終案を提示したいと考えております。このグランドデザインが決まり、実行されますと、今後５０年に亘る本学の在り様が決まります。幅広く意見を集約し、結論を出していきたいと考えております。

兵庫医科大学も来年は開学４０周年を迎えます。人生で言えば「４０にして惑わず」という年になります。今後は兵庫医科大学の特徴を強力にアピールし、医学・医療界で既に確保している地位を更に向上させねばなりません。その為には同窓会、後援会と連携を密にした協力が必要でありますので、引き続き皆様のご支援、ご協力をお願い致します。

４０周年前夜

兵庫医科大学 学長 | 中西　憲司

教職員の皆様方、明けましておめでとうございます。今年は開学３９年目の年です。そして来年、いよいよ創立４０周年を迎えます。従って、今年は大変重要な年となります。といっても、大学の基本的な使命は変わりません。即ち、教育、研究、診療で毎年十分な実績をあげることであります。大変嬉しいことに、教職員の皆様方の頑張りのお陰で、本学は着々と成果を上げてまいりました。改めまして、本学の教職員の皆様方のこれまでのご努力に対し感謝申し上げます。

とはいえ、本学の教育、研究、診療はまだまだ高位安定軌道に入ってはおりません。油断すると、瞬く間に実績が低下するおそれがあります。この様な現状認識は４０周年を目前にした今こそ大変重要であります。教育、研究、診療いずれにおいても一層の「努力」が必要であります。宮本武蔵は、「千日の稽古を鍛とし、万日の稽古を錬とす」ことで、生涯一度も負けませんでした。剣の道だけでなく、教育、研究、診療でも、不断の研鑽が必要であります。本学の建学の理念に加え、是非この「鍛錬」を続けることで、平成２４年の干支である昇り龍となって創立４０周年を迎えたいと思います。

その為に、大学は一丸となって行動する必要があります。やっと掴んだ「国家試験合格率トップレベル校」、「科学研究費獲得額トップレベル校」、「頼れる病院ランキングトップレベル病院」の称号をキープする行動が必要であります。教養部門の先生には、是非とも学生達の精神的自立を促すご指導をお願いします。高い目標をもって勉学に励む習慣を彼等に付けさせて下さい。基礎医学部門の先生には、医学の基盤となる基礎医学の重要性と面白さを是非理解させて下さい。また、基礎研究の役割を説いて下さい。最後に、臨床部門の先生方、信頼され求められる良き臨床医を育てて下さい。学長の仕事は優秀な人材が、その能力を最大限発揮できる環境を作ることです。学生達が快適に勉学と課外活動に打ち込める環境を作ることです。さらに、卒業生にとって、「愛せる、頼れる、そして誇れる」母校を作ることです。また大学の価値を広くアピールするのも重要な仕事です。その達成のために全力を尽くします。どうか、皆様ご支援ご指導、お願い申し上げます。

新たな目標で第二ステージへ

兵庫医療大学 学長 | 松田　暉

皆様、明けましておめでとうございます。

兵庫医療大学は本年３月でもって開学４年目を終えます。看護学部とリハビリテーション学部はそれぞれ第一期生が卒業し医療専門職者として社会に出て行きます。６年制の薬学部もいよいよ４月から実務実習が始まります。これまで開学以来ご支援を頂きました多くの関係の方々に深く感謝申し上げます。

兵庫医療大学は当初よりチーム医療とボーダレスを合言葉に、教職員一丸となって大学作りと学生教育に励んでまいりました。その成果は、これから世にでる学生諸君が医療現場でどう受け入れられ評価されるか、薬学部学生は実務実習などで皆様の前に出てくるものと思います。就職先については、看護学部は兵庫医科大学病院で沢山の内定を頂き、また関西地区の基幹病院からも採用内定を頂いています。理学療法学科と作業療法学科についても、兵庫医科大学病院リハビリテーション部レジデント制も始まり、さらに連携病院の会の多くの病院や施設から採用の申し出を頂き、大変感激しております。学生たちだけでなく教職員も、兵庫医科大学が持つ伝統の力の凄さを改めて感じております。

本学は看護学部とリハビリテーション学部の完成年度を迎え、大学院修士課程設置の準備を進めてきました。年末には認可が得られるものとして準備を進めておりますが、高度な専門性を持った実践的医療人の育成や関連分野の研究者の育成に貢献できればと思っております。

本年は本学にとって大きな節目の年です。２年後の薬学部完成も見すえ、これまでに掲げた目標をさらにブラッシュアップし、次のステップへ進む年となります。目標には、優秀な学生確保と学部教育のさらなる充実、研究体制の拡充も加えています。兵庫医科大学との一層の連携のもとで、皆様のご期待に沿うべく努力をする覚悟です。本年も何とぞご支援とご指導の程、宜しくお願い申し上げます。

ぬるま湯ガエルからの脱却を目指して

兵庫医科大学病院 病院長 | 太城　力良

明けましておめでとうございます。今年の干支はウサギ、同じく「飛躍」を得意とするカエルは干支には入りませんが、皆さん、「ぬるま湯のカエル」の話をご存知ですか？熱いお湯の中にカエルを入れると、熱さにビックリして、すぐに飛び出します。ぬるま湯に入れて少しずつ熱くしていくと、気持ちが良いぬるま湯になれたカエルは致命的な熱さになっていることに気づかず、飛び出す機会を失い「ゆでガエル」になって死んでしまいます。

現状（ぬるま湯）に満足している人は、一般に以下の特徴を持っています。①上から与えられた仕事のみを淡々とこなす、②過去の事例を元に行動し心地よい状態である、③忙しい忙しいと言いまくる、④仕事を楽しまず熱中しない、⑤限られた情報から物事を判断する、⑥後輩を育てることや自分のキャリアアップに留意しない、⑦業務改善のための行動をしない、などです。そして、医学・医療を取り巻く情勢、社会情勢が大きく変化し、いつの間にか熱くなった湯になっているのに、自分の殻から飛び出す気力がなくなっているのです。

マンネリズムを打破するのは、誰にとっても簡単なことではありません。しかし、年の始めは節目であり行動変容するチャンスです。急性医療総合センターの着工まで数カ月となり、より長期的なグランドデザインも策定中です。これを完成させ新しい兵庫医科大学にするには、新たな道を切り拓く創造力と強い精神が大学教職員に求められます。社会の環境・状況の変化に合わせて、改革・改善していくには、構成員の自己啓発、チャレンジ精神と叡智の統合が必要です。正月や休日に温泉でぬるま湯に長時間浸かってリラックスするのは結構ですが、皆さま、ゆでガエルにならぬよう飛躍の年にして下さい。本年も、病院運営にご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

卯年（うさぎ年）を迎えて

兵庫医科大学ささやま医療センター 病院長 | 福田　能啓

明けましておめでとうございます。旧年中はささやま医療センターの開院および維持運営に多方面からの御支援を賜り、感謝申し上げます。

兵庫医科大学の「寅年」を振り返りますと、ささやま医療センター開院を含めて、急性総合医療センター新築の決定、医師国家試験合格率の高水準の維持、兵庫医科大学病院経営収支の記録的な改善など、ポジティブな意味で激動の年であったと思われます。今年は卯年（うさぎ年）で、干支（えと）で言えば辛（かのと）卯（う）にあたります。辛は「取っ手のある針」であり、きついまたは厳しい状況を意味し、卯は祭祀に捧げものをして「茂盛」を祈ることのようです。つまり、今年は変革の始まりの年であると言えるのかも知れません。数々の難問を努力によって解決し、「茂盛」に到達しなければなりません。

「ささやま医療センター」も例にもれず、まさに厳しい「辛卯」年を迎えております。地域のニーズでもある「断らない救急医療」の提供、地域の連携病院との関係向上のために「ささやま医療センター」が果たす役割の増大、篠山市にある今田・東雲・草山・後川の４つの僻地診療所の維持、病院の経営状況の改善など、到達すべき目標の枚挙にいとまがありません。自治体をはじめ、地域の病院崩壊の原因の一つである「医師不足」を解決できれば良いのですが、最先端の医療技術を学べない、一次救急を含む地域の救急診療で疲弊してしまう、多様な疾患を経験できないなどの理由で、地域医療に関心を持つ医師が減っているのが現状です。

オーストラリアの軍艦には「カンガルー」マークが付けられています。「カンガルー」は後ろ足で行動する動物であり、決して「後戻り」ができないそうです。オーストラリア軍は「前進あるのみ、撤退せず」というわけで、そのマークをつけているのでしょう。干支に「カンガルー」年はありませんが、「前進あるのみ、後退なし」年として、カンガルーのように後ろ足が発達し、後退できない「うさぎ」年があるのではないかと思っています。うさぎは後足の脚力が強いので、山上に向かって逃げます。追いかける側は息切れして、ついには逃げられてしまいます。しかし、うさぎは前足の脚力が弱いので上手に山を下ることができず、山上から追いかけると容易に確保できるのだそうです。「卯（うさぎ）」年は、「山を下ることが苦手で常に上を目指すことが得意な」年と捉えて、連携の輪を広げながら、行く道が上り坂であっても、それがたとえ急であっても極めてゆきたいと思います。

最近の主な 出来事

10月 October

9	■兵庫医療大学	海鼠祭（大学祭）（9、10日）	P12
	■兵庫医療大学	「ポーアイ4大学による連携事業」公開講座『孫育て教室』（看護学部　末原 紀美代 教授・藤井 真理子 教授）	
13	■兵庫医科大学病院	市民健康講座「骨にできるがんについて」（整形外科　麸谷 博之 准教授）	
14	■学校法人兵庫医科大学	西宮教職員共済会親睦行事	➡
15	■兵庫医療大学	地域交流プロジェクト「からだのアンチエイジング」健康みなおしプロジェクト	
16	■兵庫医療大学	「ポーアイ4大学による連携事業」ー健康・生活・安心サポートー健康生活を守るための介護予防・介護する人の支援『大往生を考えるー日本人の心と仏教ー』安養寺 住職 隈部 知更氏	
	■兵庫医科大学病院	病薬連携セミナー	
19	■兵庫医科大学	平成２２年度篤志解剖体慰霊祭	P11
27	■兵庫医療大学	文部科学省　設置計画履行状況調査（実地調査）	
	■兵庫医科大学病院	市民健康講座「もし『不整脈』と言われたら？」（循環器内科　峰 隆直 学内講師）	

10/14 ■学校法人兵庫医科大学
西宮教職員共済会親睦行事

吉本興業の芸人らによる「お笑いライブ」が、平成記念会館大講堂で行われ、４組のコンビと２名の芸人らによる漫才やコントなどの芸を楽しみました。今回は西宮教職員共済会の親睦行事の一環として行われ、会場は終始笑い声が響き渡り、教職員はリラックスした時間を過ごしました。

11月 November

1	■兵庫医科大学	利益相反（Conflict of Interest：COI）に関するセミナー	
4	■兵庫医科大学	医療講演会「医療と保健の政策展望」（元厚生労働省健康局長　上田 博三氏）	
6	■兵庫医療大学	推薦入学試験（併願制Ａ日程・11月16日合格発表）	P13
9	■兵庫医科大学病院	医療監視	
	■兵庫医療大学	自衛消防訓練	➡
11	■兵庫医科大学病院	第７回兵庫医科大学病院 病診・病病連携の会	
12	■学校法人兵庫医科大学	自衛消防訓練	➡
	■兵庫医科大学	知的財産セミナー	➡
13	■兵庫医療大学	推薦入学試験（専願制・11月25日合格発表）	P13
14	■兵庫医科大学	一般公募制・地域指定制推薦入学試験（11月24日合格発表）	P10
17	■兵庫医科大学病院	市民健康講座「脳卒中ー新しい治療ー」（脳神経外科　内田 和孝 助教）	
18	■兵庫医療大学	保健室イベント ～月経と上手につき合おう～	➡
19	■兵庫医療大学	地域交流プロジェクト「からだのアンチエイジング」健康みなおしプロジェクト	
20	■兵庫医科大学	醫聖祭（大学祭）（20、21日）	P8
25	■ささやま医療センター	自衛消防訓練	➡
27	■兵庫医療大学	「ポーアイ4大学による連携事業」公開講座『活き活きと歩き続けるためにー高齢者の歩行の特徴と転倒予防についてー』（リハビリテーション学部 日高 正巳教授）	
30	■兵庫医科大学病院	小児病棟患者対象行事（手品）	P11

11/9 ■兵庫医療大学
自衛消防訓練

４時限目終了後の午後４時５０分にＰ棟３階図書館入口返却ポスト付近からの出火を想定し、教職員と学生による自衛消防訓練を実施しました。教職員が通報・初期消火を行った後、Ｐ棟オクタホールからＧ棟南側広場まで学生の避難誘導を行いました。その後、避難訓練に参加した薬学部１年生が、消火器や屋内消火栓等の取扱い訓練を行いました。

11/12 ■兵庫医科大学
知的財産セミナー

９－１講義室において、京都大学　産官学連携本部　産学連携コーディネータ(兼)医学部付属病院　医療開発管理部長、特任教授の樋口　修司先生にご講演いただきました。「研究成果と産学連携活動」をテーマに、①学術研究発表と特許出願②共同研究(含む、ライセンス)成約活動③研究諸契約の概観について、具体的例を用いながらわかりやすくご説明いただきました。

11/12 ■学校法人兵庫医科大学
自衛消防訓練

深夜帯の火災発生時に１号館１０階東病棟のゴミ庫からの出火を想定し、教職員による自衛消防訓練を実施しました。通報・初期消火を行った後、１号館９階ナースステーションホール前に避難誘導を行い、その後５階渡り廊下で太城病院長、防火防災管理者の森田事務局長が講評を行いました。訓練後、５号館南側芝生において消火器の取り扱い訓練を行いました。

11/18 ■兵庫医療大学
保健室イベント～月経と上手につき合おう～

Ｐ棟２階地域連携実践センターにて、兵庫医療大学の学生・教職員を対象に「保健室イベント～月経と上手につき合おう～」が開催され、学生１４名・教職員６名が参加しました。このイベントは社団法人日本家族計画協会による講演助成事業で、レディースクリニックハヤシの林　千恵子先生を講師にお迎えし、女性のからだや月経の仕組み・月経のトラブルを解決する方法について、わかりやすくご講演いただきました。講義や実習で参加できない方がいたことから、次回の開催を検討中です。詳しくは保健室までお問い合わせ下さい。

11/25 ■ささやま医療センター・ささやま老人保健施設
自衛消防訓練

ささやま医療センターでは、夜間帯に４階脱衣室から出火、ささやま老人保健施設では、夜間帯に４階４１０号室から出火したことを想定して、自衛消防訓練を実施しました。その後、篠山市消防本部による救助訓練（２階屋外広場に避難している患者さんを地上へ避難させる訓練）を実施しました。訓練後、篠山市消防本部から「ささやま医療センター、ささやま老人保健施設ともに速やかに救助活動ができていた」との講評がありました。

兵庫医科大学

第３９回兵庫医科大学大学祭 「醫聖祭～Thank you～」を開催

平成２２年１１月２０日・２１日、醫聖祭を開催しました。テーマ「Thank you」は、今年で開催が“３９”回目であることにかけ、また「醫聖祭を開催させていただけることへの感謝」、「教職員の方々や家族、近隣の方々への日頃の感謝」を伝えたい、という思いを表しました。

医療関連器具の展示や「生活習慣病」をテーマとした解剖展示など「医科大学」ならではの企画や、中庭の特設ステージのイベント、毎年人気のバザー、フリーマーケットなどを行いました。医学講演会では、元プロ野球選手(平成２２年に阪神タイガースを退団)の矢野　燿大さんにご講演いただきました。

医療器具展示・解剖展示・チュートリアル展示

AEDを使って心肺蘇生法を体験

解剖展示は「生活習慣病」がテーマ。来場者に生活習慣見直しのきっかけになれば、との思いを込めて

手書きの展示ポスターには懐かしさも感じられる

中庭特設ステージ

お笑いライブ、空手部演舞、兵医CUP、ビンゴ大会、Afternoon Premium、STREET DANCEなど様々なイベントを実施

医学講演会「今、そしてこれから・・・」　元プロ野球選手（捕手）矢野 燿大（あきひろ） 氏

約７００人の観客を前に、プロスポーツ選手からみた健康の大切さや、２０年間も現役を続けることができた秘訣、将来のことなどを話していただきました。矢野さんは「集中力を維持するためには、『今、自分に何ができるか』を考えて色々な角度から取り組むことが大切」と話し、学生や観客との質問にも気さくに答えてくれました。また、矢野さんご自身が立ち上げられた「３９矢野基金」への思いも話していただきました。今回の醫聖祭では、学生も大学内の各所及び周辺の店に募金箱を設置し、協力を呼びかけました。

平成記念会館大講堂での医学講演

講演の後、小児病棟で子どもたちと交流される矢野さん

兵庫医科大学

クロアチア共和国リエカ大学医学部 交換留学を実施

兵庫医科大学とリエカ大学医学部は平成１９年に「学術交流に関する協定」を締結し、平成２０年度から交換留学を行っています。本年度は８月３０日から９月２４日まで、本学の第５学年次の北村　江理さん、辰巳　仁美さん、友澤　翔さんがリエカ大学に留学し、リエカ大学からは５学年次のBoris Bezakさん、Lovlo Tkalčīcさん、６学年次のKosjenka Juranさんが来日し、１０月４日から１０月２７日まで兵庫医科大学で実習を行いました。

留学を終えて・・・

辰巳　仁美さん（循環器内科で実習）〈寄稿〉

ドゥブロブニクで

循環器内科の医師達と

クロアチアは東ヨーロッパのバルカン半島に位置し、小さいですがローマ時代から栄えた非常に歴史のある国です。１９９５年まで民族紛争が起きていたとは思えないほど街並みは美しく、自然豊かで穏やかな時間が流れていました。病院では、毎朝モーニングカンファレンスにでたあと、CCU、一般病棟、カテーテル室、心エコー室などで実習を行いました。行く前は公用語がクロアチア語なので少し不安もありましたが、循環器内科では医師をはじめ看護師や検査技師の多くが英語を話すことができ、みなさんとてもフレンドリーで優しく私を歓迎してくれたので、安心して実習できました。

最初の頃は、文化や習慣の違いもあり、日本の医療との違いに少し戸惑いもしましたが、毎日過ごすうちに医療の基本は世界共通だと気づきました。正直、クロアチアの医療は日本のものより遅れていると考えていた自分が恥ずかしくなりました。実習後には、イギリスから来ていた留学生と一緒に海へ出かけたり、交換留学生として日本へ来るリエカ大学の学生やその友達と食事に出かけたりと、毎日がとても充実していました。週末はドゥブロブニクやプリトヴィッツェ湖群国立公園などクロアチアを代表する世界遺産を訪れたり、交換留学生の家族と過ごしたりしました。

今回の留学は、私にとって貴重な体験でした。このチャンスをくださった方々に感謝するとともに、クロアチアの医師が働く姿を見て感じたことをこれからに活かしたいと思います。また、留学に興味をもっている他学年の方にも、是非挑戦してほしいと思います。

辰巳さん、北村さん、友澤さん
（左から）

北村　江理さん（循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、腎臓内科を１週間ずつ回りながら実習）

「クロアチアの循環器分野は発展していて、ドクターの数も多く、色々な勉強をさせていただきました。海も綺麗で景色や町並みも美しく、また行きたいです」

友澤　翔さん（リエカ大学付属のロブラン整形外科病院で実習）

「クロアチアの人たちがゆったりとしたスタイルで働いている様子が印象的でした。皆人懐っこく、町を歩いていて何度か声をかけられました」

リエカ大学の学生は実習の他にも、ＰＥＴセンターの見学や、兵庫医療大学で生薬の標本・実習室見学、煎じ薬の体験、薬草園見学、漢方の講義などを体験しました。漢方の考え方は新鮮だったようです。ウェルカムパーティーや帰国前のフェアウェルパーティー、週末の観光なども通じて両大学の学生が活発に交流しました。

Boris Bezak さん（下部消化管外科で実習）

「正座やお箸を使った食事のマナーに始まり、働き方など、あらゆる観点でクロアチアとは異なりました。共通する部分もありましたが、患者さんとの丁寧な関わりなどは日本特有だと思いました。教育、研究の面でも興味があり、ぜひ日本に戻ってきたいと思います」

Borisさん、Lovloさん、Kosjenkaさん（左から）

Lovlo Tkalčīc さん（救命救急センターで実習）

「日本人の美徳や文化などにふれることができてよかったです。東京、神戸、広島、奈良、大阪などの地も訪れ、世界遺産の宮島にも行くことができ、面白かったです」

Kosjenka Juran さん（産科婦人科で実習）

「皆さんとても良くしてくださいました。日本人はシャイであるといった印象でしたが、すぐに打ち解けて、温かく受け入れてくれました。日本にまた来たいです」

ＰＥＴセンター見学

兵庫医科大学

平成２３年度兵庫医科大学 医学部入学試験　速報

推薦入学試験結果

一般公募推薦入学試験

試験期日：平成２２年１１月１４日（日）
試験科目：基礎学力検査、小論文、面接、調査書
合格発表日：平成２２年１１月２４日（水）

募集人員	約１５名
志　願　者	５６名（３４名）
受　験　者	５６名（３４名）
合　格　者	１５名（　９名）
実質競争倍率	３．７倍

実質競争倍率は「受験者／合格者」
（　）内は、女子・内数

地域指定推薦入学試験

試験期日：平成２２年１１月１４日（日）
試験科目：基礎学力検査、小論文、面接、調査書
合格発表日：平成２２年１１月２４日（水）

募集人員	５名以内
志　願　者	１０名（４名）
受　験　者	１０名（４名）
合　格　者	５名（２名）
実質競争倍率	２．０倍

一般入学試験、大学入試センター試験利用入学試験がこれから始まります！

一般入学試験

募集人員	約８０名
試験科目	第１次試験：数学（１５０点）、外国語（１５０点）、理科（物理、化学、生物から２科目選択）（２００点） 第２次試験：小論文（１００点）、面接
出願期間	平成２２年１２月１３日（月）～平成２３年１月１８日（火）　消印有効
試験期日	第１次試験：平成２３年１月２６日（水） 第２次試験：平成２３年２月５日（土）または６日（日）（希望日を出願時に選択）
試験会場	第１次試験　大阪会場：インテックス大阪 東京会場：五反田ＴＯＣビル 福岡会場：福岡商工会議所 第２次試験　兵庫医科大学
合格者発表	第１次試験：平成２３年２月３日（木） 第２次試験：平成２３年２月１４日（月）

大学入試センター試験利用入学試験

募集人員	約１０名
試験科目	第１次試験：国語（近代以降の文章のみ）、数学（数学Ⅰ・数学Ａ、数学Ⅱ・数学Ｂ）、理科（生物Ⅰ、物理Ⅰ、化学Ⅰから２科目選択）、英語（筆記・リスニング） ※理科について、３科目受験した場合は高得点の２科目を合否判定に使用 第２次試験：面接
出願期間	平成２２年１２月１３日（月）～平成２３年１月１４日（金）　消印有効
試験期日	第１次試験：大学入試センター試験日 第２次試験：平成２３年２月１７日（木）
試験会場	第１次試験：大学入試センターが指定する試験会場 第２次試験：兵庫医科大学
合格者発表	第１次試験：平成２３年２月１０日（木） 第２次試験：平成２３年２月２２日（火）

平成２３年度兵庫医科大学 大学院入学試験 速報

前期入学試験結果

医学研究科入学試験（前期募集）

試験期日：平成２２年９月１７日（金）
試験会場：兵庫医科大学
選考方法：外国語試験、面接
合格発表：平成２２年１０月８日（金）

受験者数	１０名
合格者数	１０名

課程を経ない学位申請者に対する外国語試験（第５７回）

試験期日：平成２２年９月１７日（金）
試験会場：兵庫医科大学
選考方法：外国語試験
合格発表：平成２２年１０月８日（金）

受験者数	３名
合格者数	２名

これから始まります！

医学研究科入学試験（後期募集）

出願期間	平成２３年１月２４日（月）～２月５日（土）
試験期日	平成２３年２月１８日（金）
試験会場	兵庫医科大学
選考方法	①外国語試験 ②面接（担当教授との面接が終了している場合には免除することがある）
合格発表	平成２３年３月１１日（金）

課程を経ない学位申請者に対する外国語試験（第５８回）

出願期間	平成２３年１月２４日（月）～２月５日（土）
試験期日	平成２３年２月１８日（金）
試験会場	兵庫医科大学
選考方法	外国語試験
合格発表	平成２３年３月１１日（金）

※詳しくは平成２３年度学生募集要項をご確認ください

兵庫医科大学

平成２２年度兵庫医科大学篤志解剖体慰霊祭

平成２２年１０月１９日、平成記念会館において、平成２２年度兵庫医科大学篤志解剖体慰霊祭が執り行われました。医学教育･研究及び医療の進歩と発展のために、自らのご遺体を捧げられた方々を祭祀するため、本学では毎年１０月第３火曜日に無宗旨形式で執り行っております。

本年度は平成２１年１０月１日から平成２２年９月３０日の期間に、その身を解剖に捧げられた、系統解剖ご霊位５９柱、病理解剖ご霊位４６柱のあわせて１０５柱を祭祀させていただきました。

式はご霊位の奉読に始まり、全員黙祷に続いて中西学長、太城病院長、解剖担当教室代表の野口主任教授による慰霊の詞のあと、西宮市長から弔辞の詞をいただき、次いで学生代表の第２学年次 水谷 直也さんによる謝意の詞が述べられました。引き続いて、故人のご冥福をお祈りして参列者全員による献花が行われ、本学教職員並びに学生は、ご霊位に対し医学･医療の向上に寄与することを誓いました。

ここに、あらためて全ての御霊のご冥福をお祈り申し上げますとともに、ご遺族の皆様の深いご理解に対し、心から御礼申し上げます。

兵庫医科大学病院

治験セミナーを開催

平成２２年１１月２６日、第２会議室において、日揮ファーマサービス株式会社　大阪オフィス長　森地　重博氏をお迎えし、「治験の現状と今後の動向～抗悪性腫瘍薬第Ⅰ相試験実施に向けて～」というテーマで、院内治験推進会議主催の２０１０年度治験セミナーを開催しました。

治験業務に携わる医師やコメディカルなど総勢５６名に参加いただき、治験を取り巻く情勢や今後の展開、製薬会社が求める「チーム治験」としての体制構築の重要性などについてご講演いただきました。今後の治験の推進、活性化を図る上でも大変示唆に富む内容で、当院治験業務の一層の発展に繋げていきたいと思います。

兵庫医科大学病院

小児患者対象イベント～入院中の子どもたちがマジックを楽しみました～

平成２２年１１月３０日、第３会議室でマジックショーが行われ、小児病棟に入院する子どもたちとその保護者がマジックを楽しみました。この催しは平成２２年度独立行政法人福祉医療機構「先進的・独創的活動支援事業助成金」病児ＱＯＬ向上・病院支援コーディネート事業「ＨＯＴもっとプレゼント２０１０」の一環で行われました。（主催：ＮＰＯ法人　子どもＮＰＯ・子ども劇場全国センター、実施：ＮＰＯ法人　兵庫県子ども文化振興協会）

会場では、マジシャンの「アンディー先生」やアシスタントの「モンブラン」によって繰り広げられる、様々なマジックに惹きこまれる子どもたちの姿が見られました。アンディー先生は「みんなも手品に挑戦してみよう。これからも家族やお友達と一緒に楽しんでね」と語りかけ、ショー終了後に小児病棟に場所を移し、病室を離れることができない子どもたちにもマジックを披露してくれました。

兵庫医療大学

第３回兵庫医療大学大学祭「海梟祭～ONE　PIECE繋げていこう僕らの絆～」を開催

平成２２年１０月９日・１０日、今年で３回目を迎える海梟祭を開催しました。初日はあいにくの雨模様となりましたが、２日目は秋の空が青々と澄んで晴れわたりました。開学４年目となり、学生も増えサークルや部活動も充実する中、学生たちは学年や学部に関係なく一丸となって、教職員、家族、友人、近隣の方々との交流を深めることができました。

企画・運営など全ての面で年々レベルアップし、見所が満載となった海梟祭。さまざまなイベントを通して兵庫医療大学の「色」を来場者にも知っていただけたと思われます。今年のテーマにふさわしい「絆」がさまざまなところで生まれ、大盛況の内に幕を閉じました。

医療講演会～リハビリを通して復職に至るまで～

オクタホールにて、中村　稔氏を講師にお招きして、発症から復職に至るまでの生の経験をお話しいただきました。リハビリの重要性や、脳卒中の程度や症状などにより復職できる可能性が異なるといった復職への難しさ、患者として、福祉施設の利用者として望むことを教えていただきました。

学部別イベント

看護学部

「アロマオイルを用いた手浴」を実施しました。香りを楽しむだけでなく、体と心の疲れを癒し、健康的で美しい体が手に入ると言われており、特に女性の方に大人気でした。

理学療法学科

「パラフィンを体験」を実施しました。パラフィンとはロウのことで、パックなどに用いられます。リラックス・ヒーリング効果があるので、ストレス解消、発汗・保湿作用などが期待できます。また各種マッサージの前後に行い、ほぐす効果を高めます。

作業療法学科

「革細工・プラバン作製」を実施しました。オリジナルのコースターやキーホルダーを作製していただきました。誰でも簡単に作製できるので、学生スタッフ指導の下、個性あふれる作品がたくさん出来上がりました。

ステージ・野外イベント

ステージ上では、学内コンテストや部活サークルによるライブ、芸人ライブ、キャラクターショーなどさまざまなイベントが学生主体で行われ、盛り上がりを見せていました。展示、模擬店、ふわふわ遊具、リサイクルマーケットなど地域の方にも参加していただけるイベントもあり、とても楽しく和やかな雰囲気となりました。

兵庫医療大学

平成２３年度兵庫医療大学　入学試験速報

推薦入学試験結果　試験会場：兵庫医療大学
選考方法：薬学部　専願制・併願制Ａ日程…外国語、理科（化学）、調査書／併願制Ｂ日程…理科（化学）、調査書
看護学部・リハビリテーション学部…外国語、小論文、調査書

専願制　試験期日：平成２２年１１月１３日（土）
合格発表：平成２２年１１月２５日（木）

学部学科	募集人員	志願者	受験者	合格者	実質倍率
薬学部　医療薬学科	２５名	３８名	３５名	２５名	１．４倍
看護学部　看護学科	３０名	１６７名	１６５名	３１名	５．３倍
リハビリテーション学部 理学療法学科	１０名	１００名	１００名	１５名	６．７倍
リハビリテーション学部 作業療法学科	１５名	５０名	５０名	１５名	３．３倍

併願制Ａ日程　試験期日：平成２２年１１月６日（土）
合格発表：平成２２年１１月１６日（火）

学部学科	募集人員	志願者	受験者	合格者	実質倍率
薬学部　医療薬学科	１０名	１１４名	１１３名	３９名	２．９倍

併願制Ｂ日程　試験期日：平成２２年１２月４日（土）
合格発表：平成２２年１２月１０日（金）

学部学科	募集人員	志願者	受験者	合格者	実質倍率
薬学部　医療薬学科	１０名	４２名	４１名	２５名	１．６倍

※実質倍率は「受験者／合格者」

看護学部看護学科　３年次編入学試験結果　試験会場：兵庫医療大学
選考方法：英語、専門科目、面接

学部学科	募集人員	志願者	受験者	合格者
看護学部　看護学科	１０名	５名	５名	４名

試験期日：平成２２年９月１１日（土）
合格発表：平成２２年９月１７日（金）

一般入学試験、大学入試センター試験利用入学試験がこれから始まります！

一般入学試験

前期Ａ日程

募集人員	薬学部　医療薬学科　４０名 看護学部　看護学科　５７名 リハビリテーション学部　理学療法学科　約２５名 リハビリテーション学部　作業療法学科　約１２名
試験科目	薬学部：外国語（１００点）、数学（１００点）、理科（化学）（１００点） 看護学部：外国語（１００点）、国語（１００点）、理科（化学、生物から１科目選択）（１００点） リハビリテーション学部　理学療法学科：外国語（１００点）、数学（１００点）、理科（化学、生物から１科目選択）（１００点） リハビリテーション学部　作業療法学科：外国語（１００点）、国語（１００点）、理科（化学、生物から１科目選択）（１００点）
出願期間	平成２３年１月６日（木）～１月２５日（火）消印有効
試験期日	平成２３年２月２日（水）
試験会場	薬学部、リハビリテーション学部：兵庫医療大学 看護学部：神戸ポートアイランドホール（通称：ワールド記念ホール）
合格発表	平成２３年２月１０日（木）

前期Ｂ日程

募集人員	薬学部　医療薬学科　２５名 リハビリテーション学部　作業療法学科　約８名
試験科目	薬学部：外国語（１００点）、理科（化学）（２００点） リハビリテーション学部　作業療法学科：外国語（１００点）、数学（１００点）、理科（化学、生物から１科目選択）（１００点）
出願期間	平成２３年１月６日（木）～１月２５日（火）消印有効
試験期日	平成２３年２月３日（木）
試験会場	兵庫医療大学
合格発表	平成２３年２月１０日（木）

大学入試センター試験利用入学試験

前期日程

募集人員	薬学部　　医療薬学科　５名 看護学部　看護学科　５名 リハビリテーション学部　理学療法学科　２名 リハビリテーション学部　作業療法学科　２名
試験科目	薬学部：理科①（化学Ⅰ）、理科②（生物Ⅰ、物理Ⅰから1科目選択）、英語（筆記・リスニング） 看護学部：国語（近代以降の文章）、理科（化学Ⅰ、生物Ⅰから１科目選択）、英語（筆記・リスニング） リハビリテーション学部 理学療法学科：国語（近代以降の文章）、数学①（「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」から１科目選択）、数学②「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」から１科目選択）、理科（化学Ⅰ、生物Ⅰ、物理Ⅰから1科目選択）、英語（筆記・リスニング） ※外国語、国語、数学、理科の４教科から３教科を選択、４教科を受験した場合は高得点の3教科を合否判定に使用 リハビリテーション学部 作業療法学科：国語（近代以降の文章）、数学（「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」から1科目選択）、英語（筆記・リスニング）
出願期間	平成２３年１月６日（木）～１月２５日（火）消印有効
合格発表	平成２３年２月１０日（木）

前期Ｃ日程

募集人員	薬学部　医療薬学科　１５名
試験科目	薬学部：理科（化学）（１００点）、外国語・数学（１教科選択、２教科を受験した場合は高得点の１教科を合否判定に使用）（１００点）
出願期間	平成２３年２月３日（木）～２月１４日（月）消印有効
試験期日	平成２３年２月１９日（土）
試験会場	兵庫医療大学
合格発表	平成２３年２月２５日（金）

後期日程

募集人員	薬学部　医療薬学科　１０名 看護学部　看護学科　５名 リハビリテーション学部　理学療法学科　若干名 リハビリテーション学部　作業療法学科　若干名
試験科目	薬学部：外国語（１００点）、数学（１００点）、理科（化学）（１００点） 看護学部：外国語（１００点）、国語（１００点）、理科（化学、生物から１科目選択）（１００点） リハビリテーション学部（理学療法学科・作業療法学科）：外国語（１００点）、小論文（１００点）、理科（化学、生物から１科目選択）（１００点）
出願期間	平成２３年２月１０日（木）～２月１８日（金）消印有効
試験期日	平成２３年２月２６日（土）
試験会場	兵庫医療大学
合格発表	平成２３年３月８日（火）

後期日程

募集人員	看護学部　看護学科　３名
試験科目	看護学部：国語（近代以降の文章）、理科（化学Ⅰ、生物Ⅰから１科目選択）、英語（筆記・リスニング）
出願期間	平成２３年３月９日（水）～３月２２日（火）消印有効
合格発表	平成２３年３月２５日（金）

※詳しくは平成２３年度学生募集要項をご確認ください

兵庫医療大学

平成２２年度科学研究費補助金交付決定（追加採択分）

（単位：千円）

研究種目	研　究　課　題　名	所属部局	研究代表者	交付決定額	
				直接経費	間接経費
基盤研究（C）	疾患による免疫系の活性化が肝薬物代謝酵素の機能に及ぼす影響	薬学部	九川　文彦	1,700	510
基盤研究（C）	薬物輸送通路の解明ートランスポーターとギャップ結合の関連ー	薬学部	三浦　大作	1,300	390
若手研究（B）	前立腺癌の個別化適正ホルモン療法確立のための科学的基盤構築	薬学部	南畝　晋平	1,300	390

財団法人等各種団体による研究助成金等の交付状況

（単位：千円）

助成団体名	研　究　課　題　名	所属部局	研究代表者	交付額
（社）日本化学工業協会（LRI）	表皮細胞センサーとのクロストークによる血管内皮細胞の免疫細胞動員シグナルの発現制御を指標とした化学物質の新しい免疫毒性試験法の開発	薬学部	田中　稔之	4,000
（社）日本化学工業協会（LRI）	ナノマテリアルの毒性発現メカニズム解析とin vitroリスク評価スクリーニングシステムの開発	薬学部	清宮　健一	4,997

競争的資金制度による交付状況

（単位：千円）

資金制度	研　究　課　題　名	所属部局	研究分担者	交付額
独立行政法人　医薬基盤研究所（保健医療分野における基礎研究推進事業）	PCA-1を分子標的とする前立腺癌、膵臓癌治療創薬に向けた天然物由来シード化合物の単離・構造決定と化学修飾による最適化	薬学部	青木　俊二	9,000
近畿経済産業局（地域イノベーション創出研究開発事業）	多様な感染症に適応できるデザインタンパク質医薬原体の開発	薬学部	芝崎　誠司	11,534

兵庫医療大学

職業体験イベント『医療のお仕事体験してみませんか！？』を開催

兵庫医療大学大学祭「海梟祭」（平成２２年１０月９・１０日開催）にあわせて、１０月１０日に職業体験イベント「医療のお仕事体験してみませんか！？」を開催しました。「さまざまな医療系の仕事を一度に体験できる」魅力あるイベントとして、医療専門者と直接お話しいただける貴重な機会になりました。

当日は開場と同時に小さなお子さんから一般の方まで幅広い年齢層の方にお越しいただき、それぞれの職業を体験していただきました。医師体験ブースでは医師になって診察を体験してもらい、目や口をよく観察した後で、その構造や働きをイラストや模型を使った説明で学んでいただきました。また、薬剤師体験ブースでは軟膏作りや分包体験を、作業療法士体験ブースでは手術で治療した後、指が変形してしまうのを予防するための装具「リングスプリント」を作り、一人ひとり違うオリジナルの指装具を手に着けていただきました。

他にも、看護師体験ブースや理学療法士体験ブース、キャンパスライフ写真展示コーナー・ＤＶＤ上映コーナーなど、多くの方々にご参加いただき、「各プログラムが連携していてとてもよかったです」「ＤＶＤ上映で仕事内容を見ることができ、説明とあわせてよくわかりました」などの感想が寄せられました。

兵庫医療大学

薬学部４年生の篠原　悠夏さん
第６０回日本薬学会近畿支部総会・大会でポスター賞を受賞

平成２２年１０月３０日、第６０回日本薬学会近畿支部総会・大会が摂南大学にて開催され、薬学部４年生の篠原　悠夏さんが「水中で高感度かつ高選択的に水銀イオンおよび銀イオンに応答する蛍光プローブの開発」というタイトルでポスター発表を行い、見事にポスター賞を受賞しました。

今大会では、６年制薬学教育・研究の活性化を目的としてポスター発表が初めて実施されました。ポスター賞は、ポスターの出来映え、研究内容および発表態度などを審査員が審査し、優秀と認められた者が表彰されます。今回は１０名が受賞しました。

（受賞した篠原さんの談話）

「あっという間の１日でした。緊張して喉が乾いていたのか、発表後に飲んだ温かいほうじ茶がとても美味しかったです。人に上手く物事を伝えることの難しさなどを学べました。手のかかる私を見放さずに見守り助けて下さった先生方、ありがとうございました。これからも、今回の受賞に恥じぬよう頑張ります！」

学校法人兵庫医科大学

学校法人兵庫医科大学基金　状況報告

本学校法人は、平成２１年４月１日に学校法人兵庫医科大学基金を創設し、継続的な募金活動を開始するとともに、基金の活動を支援する組織として学校法人兵庫医科大学兵医・萌えの会を設け、その会員の皆様から会費を寄付金のかたちで募り、基金の運営に寄与することとしております。

寄付活動を開始して以来、患者様をはじめ、後援会会員、緑樹会会員、名誉教授、退職者等は言うに及ばず、協力医療機関や関連企業等の幅広い方々から、温かいお申し込みを賜り、厚く御礼申し上げます。

皆様方からご寄付いただきました貴重な浄財は、教育・研究環境の整備や学生への奨学金等の支援を通じて、社会への貢献・還元のために使用させていただきます。

（募金推進室）

H21.1.1～22.10.31

区　分	受配者指定寄付金		特定公益増進法人		合　計	
	件　数	金　額	件　数	金　額	件　数	金　額
申　込	92件	22,705,000円	123件	10,787,498円	215件	33,492,498円
入　金	88件	18,655,000円	123件	10,647,498円	211件	29,302,498円

寄付申込者ご芳名・法人名一覧

H22.9.1～22.10.31

企業等法人（4法人）

2,500,000円　グラクソ・スミスクライン株式会社様

（ご芳名のみ記載）
アイホン株式会社様
株式会社アーガス・サイエンス様　匿名　1社

関連病院等（1法人）

匿名　1法人

その他個人（11名）

50,000円　金城　泰二様
50,000円　坂本　惠美子様
50,000円　西原　キヨ子様
50,000円　土井畑　ヒデ子様

（ご芳名のみ記載）
橋本　勝信様　匿名　6名

在学生父兄（1名）

匿名　1名

学校法人兵庫医科大学

規程等の制定・改正・廃止（規程等の全文は学内ネットに掲載）

No.	項　目	制定・改正・廃止の趣旨	制定・改正・廃止日
1	兵庫医科大学広報委員会規程	平成22年４月に事務組織の再編がなされたことに伴い、委員会構成員の職名の一部変更のため改正	平成22年11月18日
2	院長・副院長会議規程	病院機能評価において、病院の組織運営に必要な規程を整備・継続することが求められているため、現在定期開催されている会議について規程を制定	平成22年11月2日
3	病院運営会議規程	同上	平成22年11月2日
4	中央診療施設運営委員会規程	中央診療施設には、夫々の中央診療施設ごとに運営委員会などを設置しており、現状活動の無い本規程の継続の必要性がなくなっているため廃止	平成22年11月2日
5	中央診療施設合理化委員会設置にかかる病院部長会申し合わせ	同上	平成22年11月2日
6	兵庫医科大学病院臨床研究審査委員会規程	治験管理に医療安全部門が関わるようにするため改正	平成22年11月2日
7	理学療法士及び作業療法士レジデント取扱内規	優秀な卒業生をレジデントとして採用すべく条件面の改善を図る目的で、通勤手当を支給するため改正	平成23年4月1日
8	薬剤師レジデント取扱内規	同上	平成23年4月1日
9	兵庫医療大学教務に関する規程	試験における不正行為に関する処分について、学則を適用する旨を明確にするため改正	平成22年10月1日
10	学校法人兵庫医科大学省エネルギー推進に関する規程	エネルギーの使用の合理化に関する法律が一部改正され、エネルギー管理が西宮キャンパスのみから事業所単位となり、エネルギー管理統括者とエネルギー管理企画推進者が新設されたことに伴う制定	平成22年11月2日
11	省エネルギー推進委員会規程	委員会の構成員の追加等に係る改正	平成22年11月2日

■兵庫医科大学　■兵庫医科大学病院　■兵庫医療大学　■学校法人兵庫医科大学

学校法人兵庫医科大学

懲戒処分について（　）は学内情報開示日

・兵庫医科大学教員が、職務上の地位を利用し、外部から金銭を受領したので、本学就業規則に則り懲戒処分を行った。（平成２２年６月）
・兵庫医科大学病院臨床研修医が、飲酒運転で物損事故を起こしたので、本学就業規則及び本学臨床研修医規程に則り、懲戒処分を行った。（平成２２年６月）
・ささやま老人保健施設職員が、同就業規則第１７条（誠実義務）、第１８条（職場規律）、第１９条（遵守事項）に違反したので懲戒処分を行った。（平成２２年１２月）

医事課は病院収入の根幹である診療報酬明細書（レセプト）の作成を行い、また、診療受付業務や会計業務、患者サービスに関わる事務を行う部署です。レセプトの締め切り、提出となる月末月初はとても忙しくなりますが、医局や関連部署と連携しながら、縁の下の力持ちとして、病院を支えています。２年に１度、診療報酬の改定が行われるので、その対応も重要です。

事務局では一番の大所帯で、業務委託の方々を含めると、約２００名が働いています。コミュニケーションの取りやすい、和気あいあいとした部署で、甲子園での野球観戦、ボーリング大会や卓球大会など、スタッフ間の親睦を深める機会も多くあります。

REPORT　職場リポート

病院を支える縁の下の力持ちです

兵庫医科大学病院　病院事務部　医事課　林（はやし）　実千子（みちこ）主任　川畑（かわばた）　昌（まさし）さん（左から）

患者さんの声を届けたい－林さん

現在、初診受付業務を担当しており、初めて来院された患者さんの診療科を検討し、カルテを作成しています。また、再診や入院の患者さんの保険変更なども行います。月曜日や休日前は多くの患者さんが来られるので、慌しくなります。

初診受付は患者さんが最初に立ち寄る場所です。病気や怪我で不安になっておられる患者さんに少しでも安心して診察を受けていただけるよう、笑顔で接すること、落ち着いた口調で話すことを心がけています。特に、高齢の方に説明する時には、わかりやすく手を添える、メモを使う、といった工夫をしています。「ここに来て安心した」「ありがとう」と言っていただけた時はとても嬉しいですね。

患者さんと直に接する役割を活かして、貴重な「患者さんの声」を患者サービスの向上に繋げることが大切だと思っています。そのためにも、積極的に関連部署に情報発信をしていきたいです。また、外国人の患者さんの来院も増えてきたので、英語での対応がスムーズにできるようになることも目標です。

病院収入を支えたい－川畑さん

現在、呼吸器内科病棟の入院医療費請求とレセプト業務を担当しています。月の終わりと初めはもちろん、日々、様々な業務が発生するので、優先順位をつけ、効率のよい対応を心がけています。患者さんに請求書の内容を説明することもあります。

平成２２年４月に異業種から転職しました。医療や診療報酬などに関する知識はゼロに近い状態でしたが、何とかやって来られたのは、丁寧に指導してくれた先輩方のおかげです。医事課には経験豊富な「医事のプロ」が沢山いて、人を育てようとする環境が整っています。最近やっと、自分のペースで業務を進められるようになり、医局や医師とも信頼関係を築けてきたように思います。

特にレセプト業務はタイトなスケジュールのもと、請求項目を漏れなく、また間違いがないように、期限までに完了させなければいけないというプレッシャーがあります。その分、達成感は大きく、やりがいがありますよ。医療を取り巻く環境は刻々と変化しているので、病院収入の強化に向けて、私たち医事課職員が主体的・戦略的に業務に取り組みたいと思っています。

１号館７階東病棟は小児内科・小児外科の混合病棟です。血液疾患の患者さんも多くおられ、骨髄移植も行っています。０歳から学童期までのお子さんが入院されており、現在、３０名のスタッフが、医師やコメディカル、保育士と連携しながら、一人ひとりにあった細やかなケアを行っています。

特に、保育士が中心となって行う四季折々の行事やイベントでは、子どもたちの笑顔を見ることができます。近くの公立小・中学校の分校である院内学級で、退院後のスムーズな復学のために、無理のない範囲で日々の学習がなされるなど、スタッフが一丸となって、お子さんとご家族をサポートしています。

REPORT 職場リポート

これからも子どもたちをサポートしていきたい！

兵庫医科大学病院　看護部　１号館７階東病棟　看護師　倉永（くらなが） 久美（くみ）さん　高橋（たかはし） 良弘（よしひろ）さん（左から）

この先も小児医療に関わっていきたい－倉永さん

スタッフ間のコミュニケーションがとても良い病棟です。０歳から学童期までのお子さんに対して、年齢や症状にあわせた関わり方が求められるので、忙しくはありますが、子どもたちの笑顔に癒されます。

配属されて間もない頃は、ハイリスクの患者さんに対して、どのように接すればよいのか戸惑うこともありました。患者さんやご家族に寄り添い、コミュニケーションを重ねることで、不安や戸惑いを少しずつ減らすことができ、今では「できる限りのことをしてあげたい」という強い信念を持って接することができるようになりました。忙しい時でもこまめに病室をのぞき、患者さんのわずかな変化も見逃さないように心がけています。

やりがいを感じるのは、患者さんが笑顔を見せてくれた時、元気になって退院する姿を見る時です。この病棟でもっと経験を積み、いつかＮＩＣＵや他の科でも働いてみたいですね。この先も小児医療に関わり続けたいと思っています。

休日は遊びにでかけることもあれば、他の病院に勤める看護師の友人と情報交換をしたりもします。互いに共感し、また刺激を受け、励ましあいながら頑張っています。

勇気と元気をあげられる存在になりたい－高橋さん

入職して３年目で、倉永さんと同期です。現在は日々の業務に加え、退院に向けた生活準備の支援業務を担当しています。酸素療養など在宅処置を必要とされる場合には、ご家族の手技習得をサポートします。じっくりコミュニケーションを取りながら、「いつでも笑顔」をモットーに業務を行っています。

子どもは１歳でも異なると、身体的、精神的な発達が変わってきます。また、大人とは違った反応を示し、発想も多岐に渡るので、子どもたちとの触れ合いはとても新鮮です。毎日が忙しく大変なことも多くありますが、笑顔で退院していく姿を見るのが何よりも嬉しく、やりがいを感じます。

子どもたちから貰った「ありがとう」と書かれた手紙や写真は大切な宝物です。これからも病気や怪我と闘う子どもたちに勇気と元気を与えていきたい。「高橋さんのおかげで頑張れた」と言ってもらえる存在になりたいですね。プライベートでも、新しい家族が増える予定なので、より一層頑張らねばなりません。

趣味の料理を病棟スタッフにふるまうこともあります。結構好評ですよ。休日にはスポーツジムで体を動かしたり、読書をしたりしてリフレッシュしています。

SERIES 海外便り 第3回（全3回）

～海外で活躍する研究者からのメッセージ～

Zion National Park

石（せき） 亦宏（えきひろ）

University of California San Diego, School of Medicine
Assistant Professor of Medicine

略歴

平成６年　兵庫医科大学卒業、同 第一外科入局
平成８年　尚和会第一病院　外科
平成10年　協和会協立病院　外科
平成11年　兵庫医科大学大学院入学（平成14年 修了）
平成16年　Columbia大学, Postdoctoral Fellow
平成19年　UCSD, Assistant Research Scientist
平成22年　現職

１１月第４木曜日はサンクスギビングデーであり、全国的に休暇となります。もともと、Native Americanが、飢えたヨーロッパ移民たちに、七面鳥を供与し、飢えを救った事から、それを感謝するための祭日と言われています。米国では、この日に七面鳥を食べます。私は、この休暇を利用して、ザイオン、ブライスキャニオン国立公園に行ってきました。この季節の雪に覆われた大自然は絶景でした。

さて、いよいよ独立した研究室を構える事になりました。日本での、教授が大研究室を構えるシステムと違い、米国では、NIHの研究費の獲得によって、各々のPrinciple Investigator（PI）が研究室を開くことになります。研究の独立性も重視され、多くはassistant professorの段階で、独自のラボをスタートします。自分の研究費から研究員を採用し、研究機器や試薬を購入します。PIは複数かつ潤沢な研究費を得ることが出来れば、ラボの規模を拡大することが出来ます。流動的で、効率のいいシステムです。反対に、研究費が少なくなれば、研究室の縮小を余儀なくされます。新米PIは研究発案や遂行は当然ですが、論文におけるauthorshipでも、独立性を要求され、last authorshipの取得のみならず、上司の名前を著者に含めないように、大学側から指導を受けます。

研究室設立までも様々な道のりがありましたが、これからが、本当の正念場であり、実力がより一層試されることとなります。と同時に自分自身のカラーを打ち出した研究ができる事に、これまで以上に期待しています。兵庫医科大学の卒業生や在学生の方々の期待に応えられるよう、より一層の研鑽と努力を重ねていくつもりです。サンディエゴにお越しの際には、是非研究室を覗きに来てください。

Bryce Canyon National Park

多彩人

“フルマラソン１００回完走を目指す”多彩人

兵庫医科大学病院
病院事務部 次長
由良（ゆら） 仁（じん）さん

この２０年間、武庫川沿いを走り続けている。５キロのランニングを出勤前の日課とし、休日には２時間かけて２０キロを走る。３０代半ばに「ダイエットにでもなれば」という気持ちで走り始め、今では福知山マラソンや篠山ＡＢＣマラソンなど、全国のマラソン大会に出場する常連ランナーだ。

平成２２年１０月１７日に行われた「四万十川ウルトラマラソン（６０㎞の部）」を完走しゴールする様子

ホノルルマラソンも７回完走した。既に９０回のフルマラソン完走を果たし、１００回目を目指している。「四季を感じながら走っていると日頃の疲れが吹き飛ぶ。色々な人との出会いも面白い」と、その魅力は尽きない。「タスキをつないで走る連帯感も悪くない」と、駅伝にも時々参加する。

今やマラソンは人気のスポーツ。女性ランナーも増え、「美ジョガー」という造語も耳にする。篠山キャンパス教職員を中心に結成された「チーム篠山」と共に２４時間マラソンに出場するなど、兵庫医科大学内でもキャンパスや職種の壁を越えた「マラソン」の輪が広がっている。職場の仲間にも走る楽しさを伝えていきたい。

空気が澄んでいる早朝に走ると、より爽快感を味わえる。季節であれば秋が最もいい。

さまざまな分野で才能を開花させている、極めている、アクティブに活動している”多彩人“の情報をお待ちしています。自薦・他薦は問いません。総務企画部広報課までご連絡ください。
＜電話：０７９８－４５－６６５５　メール：kouhou@hyo-med.ac.jp＞